	No	
都道府県水道ビジョンの趣旨		
・ ・ 策定の 必要性	1-1	
・対象地域	1-2	
・目標年度	1-3	
一般概況		
· 地勢	2-1	
· 人口	2-2	
· 産業	2-3	
・水資源	2-4	
水道の現況		
・水道普及状況と施設数	3-1	
・職員の状況(事務職、技術職、技能労務職)	3-2	
・委託の状況(業務委託、第三者委託)	3-3	
・水源内訳(取水量)の推移	3-4	
・都道府県内クリプトスポリジウム対策実施状況	3-5	
· 都道府県内簡易専用水道対策実施状況	3-6	
・都道府県内小規模貯水槽水道に係る条例等制定状況	3-7	
・都道府県内小規模貯水槽水道対策実施状況	3-8	
・都道府県内飲用井戸に係る条例等制定状況	3-9	
・管種別での管路布設状況	3-10	
- 首個が C の E 四	3-10	
・管路の経年化状況	3-11	
・施設の耐震対策実施状況	3-12	
・危機管理に関する計画・マニュアル策定状況	3-13	
・最近の大規模地震による水道施設被害状況	3-14	
・家庭用 20m3当たり料金	3-15	
・広域連携の状況	3-17	
・水道事業ビジョン(地域水道ビジョン)の策定状況	3-18	
・アセットマネジメントの実施状況	3-19	
・水安全計画の策定状況	3-20	
・耐震化計画の策定状況	3-21	
圏域の区分の設定	4.1	
· 構成市町村	4-1	
· 面積	4-2	
· 人口	4-3	
給水量の実績と水需給の見通し		
・給水量の実績	5-1	
・水道水の需要予測と供給の見通し	5-2	
現状分析と評価、課題の抽出		
・水道サービスの持続性は確保されているか(運営基盤強化)	6-1	
・安全な水の供給は保証されているか(水道水の安全)	6-2	
・危機管理への対応は徹底されているか(危機管理・災害対策)	6-3	
将来目標の設定とその実現方策		
・水道の理想像の設定	7-1	
・理想像を踏まえた実現方策	7-2	
・実現方策推進の目標の設定	7-3	
・発展的広域化の推進のために取り組む方策	7-4	
都道府県水道ビジョンの策定のための体制及び策定後のフォローアップ		
・策定のための体制	8-1	
・フォローアップ	8-2	

4.2.1施設数-基礎項目とし4.2.2浄水方式と浄水量-基礎項目とし4.2.3配水池滞留時間-基礎項目とし4.2.4水源の状況3-44.3.1浄水施設の経年化状況-管路の老朽化4.3.2設備の老朽化-管路の老朽化	て追加して追加
1.1.1 策定の趣旨 1-1 1.1.2 本ビジョンの位置付け 1-1 1.1.3 対象地域及び計画期間 1-2 1.3 第2章 一般概況 2-1 2.1 地勢 2-1 2.2 人口 2-2 2.3 産業 2-3 2.4 水資源 2-4 第3章 圏域区分の設定 4-1 3.1 圏域区分 4-1 4-2 4-3 4-2 4-3 4-1 4-2 4.1.1 水道の構況 3-1 4.1.2 水道の普及状況 3-1 4.1.3 各プロックの特色 - 以降の章との 4.2.1 施設数 - 基礎項目とし 4.2.2 浄水方式と浄水量 - 基礎項目とし 4.2.3 配水池滞留時間 - 基礎項目とし 4.2.4 水源の状況 3-4 4.3.1 浄水施設の経年化状況 - 管路の老朽们 4.3.2 設備の老朽化 - 管路の老朽们	で追加 で追加 で追加
1.1.2 本ビジョンの位置付け 1-1 1.1.3 対象地域及び計画期間 1-2 第2章 一般概況 2-1 2.1 地勢 2-1 2.2 人口 2-2 2.3 産業 2-3 2.4 水資源 2-4 第3章 圏域区分の設定 4-1 3.1 圏域区分の設定 4-1 4-2 4-3 第4章 水道の概況 3-1 4.1.1 水道事業数 3-1 4.1.2 水道の普及状況 3-1 4.1.3 各ブロックの特色 - 以降の章との 4.2.1 施設数 - 基礎項目とし 4.2.2 浄水方式と浄水量 - 基礎項目とし 4.2.3 配水池滞留時間 - 基礎項目とし 4.2.4 水源の状況 3-4 4.3.1 浄水施設の経年化状況 - 管路の老朽化	で追加 で追加 で追加
1.1.3 対象地域及び計画期間 1-2 第2章 一般概況 2-1 2.1 地勢 2-1 2.2 人口 2-2 2.3 産業 2-3 2.4 水資源 2-4 第3章 圏域区分の設定 4-1 3.1 圏域区分 4-1 4-2 4-3 4-3 第4章 水道の概況 3-1 4.1.1 水道事業数 3-1 4.1.2 水道の普及状況 3-1 4.1.3 各プロックの特色 - 以降の章との 4.2.1 施設数 - 基礎項目とし 4.2.2 浄水方式と浄水量 - 基礎項目とし 4.2.3 配水池滞留時間 - 基礎項目とし 4.2.4 水源の状況 3-4 4.3.1 浄水施設の経年化状況 - 管路の老朽化 4.3.2 設備の老朽化 - 管路の老朽化	で追加 で追加 で追加
第2章 一般概況 2-1 2.1 地勢 2-1 2.2 人口 2-2 2.3 産業 2-3 2.4 水資源 2-4 第3章 圏域区分の設定 4-1 3.1 圏域区分 4-1 4-2 4-3 第4章 水道の概況 3-1 4.1.1 水道事業数 3-1 4.1.2 水道の普及状況 3-1 4.1.3 各プロックの特色 - 以降の章との 4.2.1 施設数 - 基礎項目とし 4.2.2 浄水方式と浄水量 - 基礎項目とし 4.2.3 配水池滞留時間 - 基礎項目とし 4.2.4 水源の状況 3-4 4.3.1 浄水施設の経年化状況 - 管路の老朽化 4.3.2 設備の老朽化 - 管路の老朽化	で追加 で追加 で追加
第2章 一般概況 2.1 地勢 2-1 2.2 人口 2-2 2.3 産業 2-3 2.4 水資源 2-4 第3章 圏域区分の設定 4-1 3.1 圏域区分 4-1 4-2 4-3 第4章 水道の概況 4.1.1 水道事業数 3-1 4.1.2 水道の普及状況 3-1 4.1.3 各ブロックの特色 - 以降の章との 4.2.1 施設数 - 基礎項目とし 4.2.2 浄水方式と浄水量 - 基礎項目とし 4.2.3 配水池滞留時間 - 基礎項目とし 4.2.4 水源の状況 3-4 4.3.1 浄水施設の経年化状況 - 管路の老朽代 4.3.2 設備の老朽化 - 管路の老朽代	で追加 で追加 で追加
2.1 地勢 2-1 2.2 人口 2-2 2.3 産業 2-3 2.4 水資源 2-4 第3章 圏域区分の設定 4-1 3.1 圏域区分 4-1 4-2 4-3 第4章 水道の概況 3-1 4.1.1 水道事業数 3-1 4.1.2 水道の普及状況 3-1 4.1.3 各ブロックの特色 - 以降の章との 4.2.1 施設数 - 基礎項目とし 4.2.2 浄水方式と浄水量 - 基礎項目とし 4.2.3 配水池滞留時間 - 基礎項目とし 4.2.4 水源の状況 3-4 4.3.1 浄水施設の経年化状況 - 管路の老朽化 4.3.2 設備の老朽化 - 管路の老朽化	で追加 で追加 で追加
2.2 人口 2-2 2.3 産業 2-3 2.4 水資源 2-4 第3章 圏域区分の設定 4-1 3.1 圏域区分 4-1 4-2 4-3 第4章 水道の概況 3-1 4.1.1 水道事業数 3-1 4.1.2 水道の普及状況 3-1 4.2.1 施設数 - 以降の章との 4.2.2 浄水方式と浄水量 - 基礎項目とし 4.2.3 配水池滞留時間 - 基礎項目とし 4.2.4 水源の状況 3-4 4.3.1 浄水施設の経年化状況 - 管路の老朽化 4.3.2 設備の老朽化 - 管路の老朽化	で追加 で追加 で追加
2.3 産業 2-3 2.4 水資源 2-4 第3章 圏域区分の設定 4-1 3.1 圏域区分 4-1 4-2 4-3 第4章 水道の概況 4.1.1 水道事業数 3-1 4.1.2 水道の普及状況 3-1 4.1.3 各ブロックの特色 - 以降の章との 4.2.1 施設数 - 基礎項目とし 4.2.2 浄水方式と浄水量 - 基礎項目とし 4.2.3 配水池滞留時間 - 基礎項目とし 4.2.4 水源の状況 3-4 4.3.1 浄水施設の経年化状況 - 管路の老朽化 4.3.2 設備の老朽化 - 管路の老朽代	で追加 で追加 で追加
2.4 水資源 2-4 第3章 圏域区分の設定 4-1 3.1 圏域区分 4-1 4-2 4-3 第4章 水道の概況 4.1.1 水道事業数 3-1 4.1.2 水道の普及状況 3-1 4.1.3 各プロックの特色 - 以降の章との 4.2.1 施設数 - 基礎項目とし 4.2.2 浄水方式と浄水量 - 基礎項目とし 4.2.3 配水池滞留時間 - 基礎項目とし 4.2.4 水源の状況 3-4 4.3.1 浄水施設の経年化状況 - 管路の老朽代 4.3.2 設備の老朽化 - 管路の老朽代	で追加 で追加 で追加
第3章 圏域区分の設定 4-1 3.1 圏域区分 4-1 4-2 4-3 第4章 水道の概況 4.1.1 水道事業数 3-1 4.1.2 水道の普及状況 3-1 4.1.3 各ブロックの特色 - 以降の章との 4.2.1 施設数 - 基礎項目とし 4.2.2 浄水方式と浄水量 - 基礎項目とし 4.2.3 配水池滞留時間 - 基礎項目とし 4.2.4 水源の状況 3-4 4.3.1 浄水施設の経年化状況 - 管路の老朽化 4.3.2 設備の老朽化 - 管路の老朽化	で追加 で追加 で追加
3.1 圏域区分 4-1 4-2 4-3 第4章 水道の概況 3-1 4.1.1 水道の普及状況 3-1 4.1.2 小道の普及状況 3-1 4.1.3 各ブロックの特色 - 以降の章との 4.2.1 上級項目とし 4.2.2 浄水方式と浄水量 - 基礎項目とし 4.2.3 配水池滞留時間 - 基礎項目とし 4.2.4 水源の状況 3-4 4.3.1 浄水施設の経年化状況 - 管路の老朽化 - 管路の老朽化 4.3.2 設備の老朽化 - 管路の老朽化 - 管路の老朽化 - 管路の老朽化	で追加 で追加 で追加
第4章 水道の概況 4.1.1 水道事業数 4.1.2 水道の普及状況 4.1.3 各ブロックの特色 4.2.1 施設数 4.2.2 浄水方式と浄水量 4.2.3 配水池滞留時間 4.2.4 水源の状況 4.3.1 浄水施設の経年化状況 4.3.2 設備の老朽化	で追加 で追加 で追加
第4章 水道の概況4-34.1.1 水道事業数3-14.1.2 水道の普及状況3-14.1.3 各ブロックの特色- 以降の章との4.2.1 施設数- 基礎項目とし4.2.2 浄水方式と浄水量- 基礎項目とし4.2.3 配水池滞留時間- 基礎項目とし4.2.4 水源の状況3-44.3.1 浄水施設の経年化状況- 管路の老朽化4.3.2 設備の老朽化- 管路の老朽化	で追加 で追加 で追加
第4章水道の概況3-14.1.1水道の普及状況3-14.1.2水道の普及状況- 以降の章との4.1.3各ブロックの特色- 以降の章との4.2.1施設数- 基礎項目とし4.2.2浄水方式と浄水量- 基礎項目とし4.2.3配水池滞留時間- 基礎項目とし4.2.4水源の状況3-44.3.1浄水施設の経年化状況- 管路の老朽化4.3.2設備の老朽化- 管路の老朽化	で追加 で追加 で追加
4.1.1 水道事業数 3-1 4.1.2 水道の普及状況 3-1 4.1.3 各ブロックの特色 - 以降の章との 4.2.1 施設数 - 基礎項目とし 4.2.2 浄水方式と浄水量 - 基礎項目とし 4.2.3 配水池滞留時間 - 基礎項目とし 4.2.4 水源の状況 3-4 4.3.1 浄水施設の経年化状況 - 管路の老朽化 4.3.2 設備の老朽化 - 管路の老朽化	で追加 で追加 で追加
4.1.2水道の普及状況3-14.1.3各ブロックの特色- 以降の章との4.2.1施設数- 基礎項目とし4.2.2浄水方式と浄水量- 基礎項目とし4.2.3配水池滞留時間- 基礎項目とし4.2.4水源の状況3-44.3.1浄水施設の経年化状況- 管路の老朽化4.3.2設備の老朽化- 管路の老朽化	で追加 で追加 で追加
4.1.3各ブロックの特色一以降の章との4.2.1施設数一基礎項目とし4.2.2浄水方式と浄水量一基礎項目とし4.2.3配水池滞留時間一基礎項目とし4.2.4水源の状況3-44.3.1浄水施設の経年化状況一管路の老朽化4.3.2設備の老朽化一管路の老朽化	で追加 で追加 で追加
4.2.1施設数-基礎項目とし4.2.2浄水方式と浄水量-基礎項目とし4.2.3配水池滞留時間-基礎項目とし4.2.4水源の状況3-44.3.1浄水施設の経年化状況-管路の老朽化4.3.2設備の老朽化-管路の老朽化	で追加 で追加 で追加
4.2.2浄水方式と浄水量-基礎項目とし4.2.3配水池滞留時間-基礎項目とし4.2.4水源の状況3-44.3.1浄水施設の経年化状況-管路の老朽化4.3.2設備の老朽化-管路の老朽化	て追加して追加
4.2.3配水池滞留時間-基礎項目とし4.2.4水源の状況3-44.3.1浄水施設の経年化状況-管路の老朽化4.3.2設備の老朽化-管路の老朽化	て追加
4.2.4水源の状況3-44.3.1浄水施設の経年化状況ー管路の老朽化4.3.2設備の老朽化ー管路の老朽化	
4.3.1浄水施設の経年化状況ー管路の老朽化4.3.2設備の老朽化ー管路の老朽化	
4.3.2 設備の老朽化 - 管路の老朽化	/
	公状況を記載するため、施設についても記載を追加 公状況を記載するため、設備についても記載を追加
4.3.3 管路の老朽化 3-10	シバルで 心味 するため、 欧州に ノいくも 記載を 足川
4.3.3 管路の老朽化 3-10 3-12	
4.4.1 浄水施設の耐震化 3-12 3-12 3-13	
4.4.1 海水施設の耐震化 3-13 4.4.2 配水施設の耐震化 3-13	
4.4.2 配水施設の耐震化 3-13 4.4.3 管路の耐震化 3-11	
4.4.3 目的の前後に 3-11 3-13	
4.4.4 耐震化計画策定状況 3-13	
4.5.1 上水道事業の職員 3-21	
4.5.2 水道用水供給事業の職員 3-2 3-2 3-2 3-2	
4.5.3 簡易水道事業の職員 3-2 3-2 3-2 3-2 3-2 3-2 3-2 3-2 3-2 3-2	
	 に関する代表的な指標の分析を追加
4.6.2 水道料金 3-16	に関する「一次可な指係の力制を追加
	ニーニー
4.6.4 委託の状況 3-3	に関する「私的な自保の力制を追加
4.6.5 広域連携に向けた取組状況 3-17	
4.6.6 アセットマネジメントの実施状況 3-19	
4.6.7 水道ビジョンの策定状況 3-18	
4.7.2 適切な水質管理 3-5	- 7 1 7 C 9 7 (C)E/III
3-6	
3-7	
3-8	
3-9	
3-20	
4.8.1 危機管理体制の構築 3-14	
3-15	
第5章 将来の事業環境の見通し	
5.1 人口 5-1	
5.2 給水量 5-2	
····	ごジョンを参考に追加
第6章 水道行政の現状と課題	
6.1.1 水道事業の経営悪化 6-1	
6.1.2 水道施設経年化 6-1	
6.1.3 職員の減少 6-1	
6.2.1 水源汚染リスクへの対応 6-2	
6.2.2 適切な水質管理 6-2	
6.2.3 専用水道、貯水槽水道等の衛生管理の充実・強化 6-2	
6.2.4 未普及地域への対応 6-2	
6.3.1 水道施設の耐震化 6-3	
6.3.2 危機管理体制の構築 6-3	
第7章 将来目標の設定と実現方策	
7.1 基本理念と理想像 7-1	
7.2 個々の水道事業体の具体的な取組方針 7-2	
7-3	
7.3 統合・広域連携による運営基盤強化の方向性 7-4	
第8章 関係者の役割とフォローアップ	
8.1 関係者の役割 8-1	
8.2 フォローアップ 8-2	